船舶におけるバイオ燃料取り扱いガイドライン 目次案

本検討会では、既存船における省 CO2 対策としてバイオ燃料の活用を促し、関係事業者が安全かつ円滑に舶用バイオ燃料を取扱うことを可能とするため、技術的課題や利用にあたっての手続、留意事項をまとめたガイドライン案を作成する。

以下に既存の関連ガイドライン (一般社団法人日本建設業連合会の「建設業におけるバイオディーゼル燃料利用ガイドライン」、国土交通省による「2020 年 SOx 規制適合舶用燃料油使用手引書」、国土交通省海事局による「水素燃料電池船の安全ガイドライン」等)を参考に作成した目次案を示す。

同案について、項目の加除・修正に関するご意見をいただきたい。

表 舶用バイオ燃料の活用ガイドライン案の目次の例

	表
章	タイトル
1.	2050年カーボンニュートラルに向けた世界と日本の動き
	1-1. 2050 年カーボンニュートラルに向けた世界全体の動向
	1-2. 我が国における政府・他分野の動向等
	1-3. 内航海運の CO2 排出量の現状と削減に向けたこれまでの取組
2.	バイオ燃料とは
	2-1. バイオ燃料の種類
	(バイオ燃料、バイオディーゼル燃料の定義、原料、製造工程による違い
	SVO, FAME, HVO)
	2-2. 舶用利用が期待されるバイオディーゼル燃料の概要
	(1) 市場の概観(世界の市場規模、見通し、用途別の代替燃料割合)
	(2) 舶用バイオディーゼル燃料の比較(内航船舶用として使われる可能性
	のある SVO、FAME、HVO の性状、価格、供給量見込み、関連法
	規制等)
	(3) バイオディーゼル燃料の使用によるメリット
	(4) バイオディーゼル燃料の使用にあたっての留意事項(制度・規制上の
	課題か、それとも技術的な問題とするか)
3.	舶用バイオ燃料の調達
	3-1. 舶用バイオ燃料の品質基準・規格
	3-2. 燃料品質の確認・検査
	3-3. エンジンメーカー等との協議(ゴム製シーリング、ガスケット、ホース
	などの燃料系統部品の交換など確認⇒4章と内容が重複する可能性)
	3-4. 必要な手続き(今回は内航船に関する検討なので、比較のためや市場の
	問題以外の話題においては日本国内に的を絞ってよいか)

	(1) MARPOL 条約上の旗国承認
	(2) 補油する国の独自ルール条件への適合
	(3) 船級協会の承認
4.	舶用バイオ燃料使用に向けた準備・対応
	4-1. 舶用バイオ燃料使用前の対応
	(1) バイオ燃料使用前の消耗品の交換
	(2) バイオ燃料使用に必要な部品への交換
	4-2. 舶用バイオ燃料使用後の対応
	(1) 燃料使用開始(?)直後のメンテナンス
	(2) 日常的・定期的に必要となるメンテナンス
5.	舶用バイオ燃料補油後の保管方法
	5-1. 船舶におけるバイオ燃料の保管方法
	5-2. 運航時に想定される船内トラブル及び対応方法
参考	実船試験の結果
	海技研での陸上試験の結果について